

祝 第 49 回 駿豆シングルス選手権大会

一般男子の部 入賞者

優勝	垣内崇寛（アクトスポーツクラブ）
準優勝	武田啓志（東レ）
3 位	杉平成広（トヨタ東富士）
3 位	小澤大地（ミノリアール静岡）

第 49 回 駿豆シングルス選手権 5 月 29 日にリニューアルされた三島市文教コートで行われました。各コートへの移動が短縮され、また、選手の皆様のご協力によりスムーズに試合の進行ができました。女子の部は一般エントリー 1 名 年齢別 0 と今年も不成立となりました。男子 45 歳の部は 2 名のみでしたが、一般の部と統合し全 21 ドローの開催となりました。

本日は晴天、朝から気温は高く熱中症を心配するも午後いっぱいまで出来る限りの順位戦やコンソレの試合を行いました。毎試合、暑さとの戦いでもありました。3 試合、4 試合となれば若干の疲れも見えて満足に帰られる方もおりました。本戦 第 1 シード垣内選手（アクトスポーツクラブ）は、同所属出場のジュニア選手たちや、そのご父兄さまの声援も受け連覇となりました。優勝した垣内選手には副賞として 1 年間に限り静岡県シングルスまたは静岡トーナメント（シングルの部）のどちらかのエントリー代を当協会が負担します。おめでとうございます。最後の表彰式まで多くの皆様に列席頂きました。コンソレの優勝者にも副賞が手渡されました。

次回は、いよいよ第 50 回となります。ここ数年女子の部は不成立です。女子の部が開催できるよう代表者さまには、重ねてご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本部にテントを張って下さった富士桜の山本さん 感謝申し上げます。

《勝俣暁子》



優勝 垣内選手：

「今年もまた壁として立ちました。挑戦者求む！！」



準優勝 武田選手：

「試合運営、準備など1日ありがとうございました。」

もっと練習して、次は優勝できるよう頑張ります！」



3位 杉平選手【左】:

「準決勝では格の違いを感じました。

次回また一回り筋肉を大きくして帰ってきます！！」

3位 小澤選手【右】

「体力のなさを実感しました。毎日これから走ります。」